

## 博士学位論文審査要旨

申請者：堀本麻由子（教育学研究科博士後期課程単位取得）

論文題目：合衆国成人教育協会の研究 ―職業教育を中心とした成人教育の成立過程―

申請学位：博士（教育学）

審査員：主査 矢口徹也 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 博士（教育学）

副査 吉田 文 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 博士（教育学）

副査 佐藤隆之 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 博士（教育学）

副査 辻 智子 北海道大学 教授 博士（学術）

### 1. 本研究の目的

本研究の目的は、アメリカ合衆国（以下、アメリカと略）における職業教育を重視した成人教育という特質が、1950年代の合衆国成人教育協会（Adult Education Association of the U. S. A.: AEA）の活動を通じて確立したことを明らかにすることにおかれている。

アメリカの成人教育が職業教育を重視してきたことは、先行研究においてしばしば指摘されてきた。しかし、その理由について明確に言及されたものはないため、本研究は、その点について資料をもとに解明を試みたものである。

20世紀初期までのアメリカの専門的職業は、医師、法律家、聖職者等に限られていたが、その後、科学と技術の発展、産業の変化に伴い、さまざまな領域へと拡大した。1920年代には、各領域の専門職団体が形成され、その職能を維持するための成人対象の教育が始められ、それは、1926年のアメリカ成人教育協会（American Association for Adult Education: AAAE）の設立につながった。「成人教育」という言葉はこの時期からひろく使用されている。

しかし、職業と結びついた成人教育の担い手（成人教育者）の役割とその具体的な方法、内容が検討されるのは、第二次世界大戦を経た1950年代のことであった。産業構造の変化、エンジニアへの社会的需要、平均寿命の伸長と生産年齢の延長、さらに、復員軍人の大学進学率の上昇によって、専門的職業への就業希望者が増大した。成人を対象とする継続的な教育や訓練の必要性が社会的な課題として認識され、それは、1951年に合衆国成人教育協会

の設立に結びついた。同協会では、成人教育に関する組織的、専門的な研究が取り組まれ、そのための調査活動、定期刊行物の発行、教育指導者の育成が検討されたのである。本研究は、この時期を職業と結びついたアメリカの成人教育の理論的な確立期と捉え、その中心的な役割を担ったのが合衆国成人教育協会と仮定して、その仮説の論証を試みたものである。本研究では、以上について明らかにするために、次の三つの具体的な課題を設定している。

第一に、合衆国成人教育協会設立の歴史的経緯を把握し、その事業と活動内容を分析し、その特質を明らかにすること、第二は、合衆国成人教育協会の事業に参加した具体的な成人像を捉え、同協会の職業教育像を明らかにすること、第三に、同協会の運営を担った事務局長が M.S.ノールズ (Malcolm Shepherd Knowle 1913-1997) であったことに注目し、ノールズの教育観、成人教育論と合衆国成人教育協会の事業の関係について検証すること、であった。

研究方法としては、合衆国成人教育協会の事業記録や機関誌、調査研究報告書、および関連資料を収集、整理してその分析を行っている。

## 2. 本論文の構成

本論文の構成は以下の通りである。

序章 本研究の目的と構成

### 第一章 アメリカの成人教育の成立と職業教育団体

1. 19世紀末～1920年代一産業社会成立と職業生活にかかわる成人教育
2. 1921～1950年代一成人教育活動を担う諸機関の展開
3. 1926～1951年一成人教育の全国組織の登場と発展
4. 1910～1950年代初期一進歩主義成人教育と専門主義

### 第二章 アメリカの専門的職業の拡大と成人教育の関係

1. 20世紀前半アメリカ社会の専門的職業拡大の様相
2. 成人教育分野における専門的職業と専門職化の議論の変遷
3. 1950年代の合衆国成人教育協会と専門的職業

### 第三章 合衆国成人教育協会の設立

1. 合衆国成人教育協会(1951-1982) の設立過程
2. 合衆国成人教育協会設立期の事業目的と教育内容
3. 合衆国成人教育協会と成人教育の形成過程

#### 第四章 機関誌 *Adult Leadership* にみる成人教育像

1. 合衆国成人教育協会における *Adult Leadership* の位置づけ
2. *Adult Leadership* の創刊目的とノールズの関わり
3. 読者投稿欄にみる成人教育像—読者とのコミュニケーション方法と投稿内容の分析
4. 成人教育の性格と成人教育者の実像

#### 第五章 1950年代の合衆国成人教育協会と成人教育の方向性

1. 合衆国成人教育協会の方向性検討調査プロジェクトの概要
2. 方向性探索プロセスの予備調査—「社会概念と方向性探索委員会」報告書
3. 「方向性探索コンサルティング」委員会報告にみる「成人教育のリーダーシップ」の位置づけと特質
4. 「成人教育における全国組織の役割」報告書の検討—成人教育と専門的職業の関係
5. 合衆国成人教育協会と成人教育の方向性

#### 第六章 ノールズの成人教育観—合衆国成人教育協会の事務局長として

1. ノールズとフルの成人教育観の背景—共同研究者としての取り組み
2. フールの成人教育観と専門職業人教育
3. 1950年代のノールズの成人教育観—事務局長としての事業との関わり
4. ノールズの成人教育史研究にみる成人教育観—専門的職業との関わり
5. ノールズの成人教育観の生成—事務局長時代の実践・研究との関わり

#### 終章 各章の成果と結論

### 3. 本論文の概要

各章の概要は以下のとおりである。

第一章では、20世紀初期から1950年までのアメリカの成人教育と職業教育団体の関係についてその特色を分析した。その結果、①20世紀初期のアメリカでは、イギリス・ヨーロッパ型の成人教育の伝統に影響を受けつつも、専門的職業に従事する人々が増加し、専門職団体が形成され、成人教育に取り組む多様な団体、機関が組織された。②1920年代になるとアメリカ成人教育協会とNEA成人教育部は、多様な専門職団体と機関の連絡を図り、成人教育に関する専門的な研究、出版活動、教育指導技術に関する情報提供を開始した。③進歩主義とJ.デューイ(John Dewey, 1859-1952)の影響を受けたE.リンデマン(Eduard Christian Lindeman, 1885-1953)等の成人教育の研究者が登場し、職業生活に即したアメリカ独自の成人教育概念の生成へとつながった。この動きが、1950年代以降の成人教育論の基礎となった点を指摘した。

第二章では、1950年代の専門的職業の拡大と成人教育との関係について、次の点を明らかにしている。①第二次世界大戦後のアメリカでは、長期的な好景気、産業構造の変化によって専門的職業の需要が増加した。また、大学進学率が上昇し、学生は高度なスキルを求める専門的職業を目指し、政府が復員軍人の大学進学を支援したことは、成人の専門職指向の要因ともなった。②1950年代の成人教育の研究者によって、職業の専門性を維持するための継続的な教育活動の必要性が提起された。1951年に結成された合衆国成人教育協会では、多様な専門職業人を対象とした事業が行われ、成人教育独自の内容と方法が検討され始めることになった。③この時期、研究者たちは、成人教育の固有の役割に注目し、成人教育における教育指導者の役割について、具体的な検討を始めた。

第三章では、1950年代の合衆国成人教育協会の事業目的と教育内容を具体的に分析している。明らかになったのは、次の点である。①合衆国成人教育協会は、成人教育活動を担う教育者、指導者(以下、成人教育者と略)の技術や能力を高める教育事業を行うことを目的として発足している。それは従来のアメリカ成人教育協会が行った職業団体対象の教育事業を行うことではなく、成人教育者が求める教育活動を行うことであった。②そのために、合衆国成人教育協会は、成人教育者を幅広く受け入れる専門職別の会員制度を新設した。また、出版事業、分科会事業への参加を通して、成人教育者の専門性の向上が図られた。③協会の目指す成人教育の専門性は成人教育に関連した社会的、哲学的な学問領域を熟知し、人間の成長と成人の問題解決を援助する技能であった。

第四章では、合衆国成人教育協会の機関誌の一つである *Adult Leadership*(以下、AL誌

と略)に着目し、その編集活動と読者の投稿内容から、同協会に集った成人教育者の実像について、以下の点を明らかにした。①合衆国成人教育協会は、成人教育者たちを援助し、コミュニケーションの手段としてAL誌を位置づけた。②成人教育の対象は、多様な専門的職業群の中に存在している。「成人教育の知の体系構築の基盤」となるのは、成人の探究心を持続させることであり、そのためには自律的な学習機会が不可欠とした。③成人教育者としての専門性を高めることは、従来の職業準備教育ではなく、職業を持つ成人の探究心に働きかけながら、成人の人生、職業経験をもとにした養成プログラムが必要である。

AL誌の活動は、1950年代末には組織としての財政的基盤を失い、出版活動を含む活動の多くをボランティアに頼ることとなった。しかし、その過程で、様々な専門的職業、社会活動に関わる成人教育者がAL誌上で情報交換を行うことになり、成人教育の課題について議論を継続することになった。ノールズを含む協会のリーダーたちは、援助活動の中で成人教育者たちの実像を具体的に把握することになった点を指摘している。

第五章では、1950年代の合衆国成人教育協会とアメリカの成人教育論との関係を明らかにした。同協会は1954年から1959年にかけて調査研究プロジェクト「成人教育の方向性探索プロセス」を実施し、『社会概念と方向性探索委員会報告』(1957)、『合衆国成人教育協会方向性探索コンサルティング委員会報告』(1957)、『成人教育における全国組織の役割報告』(1959)」をまとめている。同報告書の分析を通じて明らかになった同協会の成人教育の方向性は、①成人教育者のリーダーシップは職業の種類、職位によって示されるものではなく、成人の教育への関心、関与の程度に対応したものであること、②成人教育者の専門性は、教育者自身も仕事を通じて継続的に学び続けることによって高められること、③最終的に、個々の成人教育の方向性は、学習者と教育者が決定していくことに置かれた。成人教育は、他律的に目標が設定されるものではなく、それを希望する成人と教育者との相互の関心に基づいて学び、活動することにある。

合衆国成人教育協会による成人教育の知識と技能に関する議論は、同協会の活動に参加していた成人教育者たちから評価された。合衆国成人教育協会の役割は、職業、社会活動における成人教育に共通する理念と方法を探求することであり、その意味で、この調査プロジェクトは、アメリカの成人教育論成立の一翼を担うことになった点が明らかにされている。

第六章では、合衆国成人教育協会とノールズの成人教育論との関係について明らかにした。ノールズは、第5章で述べた合衆国成人教育協会の調査プロジェクトに、同協会の事務

局長として7年間、関わっている。報告書の核心である、①成人教育のリーダーシップが、成人の教育への関心、関与の程度に対応したものである、②成人教育者の専門性は、教育者自身が、仕事を通じて継続的に学ぶことにあり、それが成人教育の質を高める、③最終的に、成人教育の方向性は、他律的に設定されるものではなく、それを希望する成人と教育者との相互の関心に基づいて進められていく、という考え方は、1950年代後半から執筆されるノールズの著作の論旨につながっている。それは彼の学位論文としてまとめられ、日本を含む世界各国の成人教育活動のモデルのひとつとなった。ノールズの成人教育観は、リンデマンの成人教育思想、フール(Cyril Orvin Houle: 1913-1998)の実践の科学に基づく職業教育構想の影響を受け、合衆国成人教育協会の事業の取組を通じて形成されたことが、論証されている。

各章の考察の成果は以上である。

#### 4. 総評

本研究の目的は、アメリカにおける職業教育を重視した成人教育の性格が1950年代に、合衆国成人教育協会の活動を中心として成立したことを明らかにすることにあつた。合衆国成人教育協会の設立に至る歴史的経緯をあとづけ、その事業と活動内容との分析を通じて、1950年代のアメリカの成人教育論の成立への役割を明らかにしたものである。その成果についての評価は次の通りである。

第一は、合衆国成人教育協会の設立とアメリカの成人教育論の成立の経緯を明らかにした点である。20世紀初期のアメリカでは、産業化、都市化によって専門的職業への従事者と職業団体が増加した。職業教育は、青少年が特定の職業に従事するための知識、技能、能力や態度を育てるためにのみあるのではなく、成人が生活し、学習する方法が課題となりつつあつた。1920年代になるとアメリカ成人教育協会とNEA成人教育部は、多様な専門職団体と協力して、成人教育に関する専門的な研究、出版活動、指導方法に関する情報提供を開始した。また、デューイの影響を受けた成人教育の研究が進み、戦後の合衆国成人教育協会の結成、アメリカの成人教育論成立に至った点を明らかにした。

第二次世界大戦後、1950年代のアメリカでは、産業構造の変化が加速化し、退役軍人の大学進学もあって、専門的職業への就業希望者が増大し、成人教育の必要性は社会的な課題としてさらに認識された。それが、1951年の合衆国成人教育協会の設立に結びつき、成人教育に関する組織的、専門的な研究、および調査活動、定期刊行物の発行、教育指導者の育

成が具体的に検討されることになった。本研究では、この時期をアメリカの成人教育論の理論的な確立期と捉え、その中心に合衆国成人教育協会が存在したことが論述されている。先行研究において、その概要は指摘されていたが、アメリカ成人教育の確立における合衆国成人教育協会の役割について、資料をもとに明確に論証している点は重要である。

第二は、合衆国成人教育協会が捉えた成人教育像と、同協会の職業教育観に関する指摘である。

合衆国成人教育協会の教育事業は、成人教育の担い手である教育者に対象を限定したものであり、そのための全国組織として活動を行った。それまでのような職能団体の教育に側面から関わる活動ではなく、成人教育の担い手（成人教育者）を対象とした取り組みを行った。成人を自律的な存在として捉え、その職業教育像も、従来の学校教育のような知識、技術を体系的に伝授することではなく、成人の自発性にに基づき、その経験を組織化する方向で捉えられた。したがって、成人教育の担い手自身の立場も、単なる教育、指導者ではなく、成人個々の職業生活における問題認識を把握した上で、協働的に働きかけることが前提とされた。そのためには成人教育者たち自身が、職業を通じて学び、経験を蓄積する存在であることが求められた。

この点は、組織としての合衆国成人教育協会と会員である成人教育者との関係も同様であり、AL 誌が、会員が経験を共有し、議論するための共同編集活動であった点を指摘している。また、調査研究プロジェクトは、会員である成人教育者たち自身が、成人教育の方向性を調査と議論を通じて見出していくことが目的であった。

以上は、事業記録、AL 誌、調査研究プロジェクトの分析を通じて、合衆国成人教育協会の成人教育像と職業教育観を明確に描き出したものとして評価したい。

第三は、合衆国成人教育協会の事業とノールズの成人教育論との関係を明らかにした点である。ノールズが提起した成人教育論の特色は、学習者の主導性、過去の経験の重視、社会的役割に対応した学習課題、成人の学習目的に即した機会、内発的動機付けであり、1960年代以降の彼の著作の核心部分となっている。それらは、1950年代の合衆国成人教育協会の事業を支えた原則と符合していることを指摘している。

1950年代のノールズは、草創期の合衆国成人教育協会の事務局長として事業全体を統括する立場にあった。同協会の事業とノールズの成人教育論との関係については、事業活動の経験から帰納されるかたちで理論化されたもの、あるいは、ノールズがすでに理論化しつつあったものが事業を通じて検証されたものであり、現実には相互の関係があった。少なくとも

も 1960 年に完成された彼の学位論文は、同協会の事業の経験に負っている部分が多い。ノールズの成人教育論の背景に、20 世紀初頭からのアメリカの成人教育に関する蓄積があり、リンデマン、フル、さらに、デューイの職業教育観の影響を強く受けて、それが 1950 年代の合衆国成人教育協会の活動を通じて完成された過程に関する具体的な論述は、重要な研究成果である。

なお、本研究の基礎は、合衆国成人教育協会および基礎文献、関連資料の網羅的蒐集と分析にあった。筆者がアメリカ留学中に検討した基礎文献に加え、国立国会図書館、国内各大学の文献検索データベースを活用して機関紙サイト、シラキュース大学図書館研究センターを通じて収集作業を行った。本研究に取り組んだ時期に、コロナ禍の影響を受けたため、渡航が叶わず、遠隔調査、大学経由の取り寄せ作業を活用せざるを得なかった。そのような中での網羅的データベースの作成、分析であったことも付記しておきたい。

公開発表会、審査委員会では、本研究についていくつかの課題が指摘された。ひとつは本研究の問いに関わるものである。本研究は、アメリカの職業教育を重視した成人教育という特質が、1950 年代の合衆国成人教育協会の活動を通じて成立したことを明らかにすることであった。しかし、歴史的、理論的背景について分析を進める過程で、焦点がやや拡散する傾向が見受けられた。この点は、今後の研究生生活の留意点として注意してもらいたい。

次に、成人教育に影響を及ぼしたデューイの職業教育観についてである。著者は、合衆国成人教育協会の成人教育論の成立におけるデューイ、リンデマン、フル等の影響について言及しているが、デューイの職業教育論からノールズの成人教育論に至る、さらに詳細な分析が必要である。

本研究については上述のような今後の研究課題が残されているが、一方で、日本の職業教育の将来像に示唆を与えるものでもある。すなわち、職業教育には、特定の専門的な知識・技能の育成とともに、多様な職業に対応し得る、基盤となる汎用性の高い能力や社会的態度の育成も重要であるという指摘がある。本研究は、この課題を解決するために、一つのモデルとして参照されうる知見を、資料にもとづきながらその歴史的経緯を明らかにした、と評価される。

以上の理由から、審査員一同は、本論文を博士（教育学）の学位授与に価するものと判断した。

以上